

一般質問

市議会定例会では、提出された議案に関係なく市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にまとめています。

養護老人ホーム花咲寮の

建て替えの必要性について

議員 花咲寮は、大和二見駅、スーパー等が近くにあるが、老朽化し建て替えも考えなければならぬと思う。生活弱者の最後の砦として、その必要性についての考えを聞きたい。

健康福祉部長 養護老人ホームは、老人福祉法唯一の措置施設で、行政責任の下で老人福祉施策上、極めて重要な施設と認識している。居室も現在の施設設置基準にそぐわないため建て替えは早急な課題といえる。

市長 確かに老朽化しており、毎年修理をしている状況の中で、市の財政状況も鑑みながら二十四年度中にその方向性を示してまいりたい。

学校給食に地産地消の安心・安全な食材を使用することについて

議員 本市の学校給食の食材の安全基準について尋ねる。

教育部長 学校給食は、学校給食法に基づき児童生徒の心身の健全な発達に資するもので、現在、三千六十九人の給食を提供しているが、栄養基準量に基づいた献立を考え、適正な食材であるかどうか

の審査を行っている。今後とも食材の基準及び検品体制の強化に更に取り組んでまいりたい。

議員 外国産加工品、冷凍野菜の納品の管理・指導はどうなっているか。また、放射能の測定器は持っているか。

教育部長 可能な限り地産地消の安全な食材の納入に心掛け、国内産とか中国産以外などの指示書を示し、配合表や分析表の提出を義務付け、業者立ち会いの下、納入時に検品を行っている。放射能の測定器は簡易なものがある。

みどり園の移転の見直しについて

議員 広域でごみ処理を進めようとして、市民に説明する義務があるので、慌てずに一二年掛けて議論すればいいと思う。新年度予算に事務組合の負担金計上は時期尚早と考えるが。

市長 新ごみ処理施設の建設については、財政負担の軽減及び交付金の活用などから広域化で進めることが最善の方法と考えており、移転の見直しを検討する予定はない。見直しを求める要望書も拝見しているが地元三地区からの要望書も出ており、今後皆さんに御理解を得ながら進めてまいりたい。

大塔町の被災地の復旧について

議員 仮設住宅でお住まいの方々は、崩れた道路がいつ復旧するのか、いつ我が家に帰ることができるのか大変不安に思っている。災害復旧工事の進捗状況について尋ねる。

市長公室長 喫緊の最重要課題として、国、県支援の連携の下、鋭意取り組んでいるところで、市の林道、道路、橋梁などの災害復旧工事も発注態勢が整い次第、順次実施してまいりたい。

市内でのお買物運動について

議員 市民一人一人が市内で買物をするのと五條市は繁盛する。「五條市内でお買物をしましょう」の運動を広報誌や窓口封筒を使って、行政がまずこの運動を盛り上げてはどうか。

生活産業部長 商工会とも連携しながら購買促進の模索に努め、一人でも多く市内で買物をしていただけるよう催しの開催や広報、ちらし等に創意工夫を行い積極的に取り組んでまいりたい。

魅力のある店づくりについて

議員 地域活性化のためには商売人が知恵を出し合い、頑張れば五條市は繁栄して元気になると思うがどうか。

生活産業部長 買物客と店主が顔の見えるコミュニティの場づくりをもつて買物

をすることで地域が生まれ、市の活性化につながっていくものと考えている。

商業会通りの一方通行について

議員 商業会通りの更地に待避所を設けて対面通行とすれば、この地域の活性化につながるのではないかと。

都市整備部長 県公安委員会との慎重な協議が必要で、五條駅等周辺整備計画とも併せ今後検討してまいりたい。

企業誘致について

議員 京奈和自動車道五條インターチェンジ付近に産地・特産市場やサービスエリアを設けることはできないか。

生活産業部長 インターチェンジから概ね1km以内は、一定の要件を満たすものであれば企業の誘致が可能である。

ごみの分別と減量化について

議員 ビン類の回収を専用のコンテナに替えて資源ごみ等ごみの減量化を一層進めてはどうか。

生活産業部長 ビン類の収集方法は他市の状況も参考にしながら調査研究してまいりたい。資源集団回収には十八地区自治連合会が参加されている。